

貸借対照表

令和5年5月31日

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	639,660,178	流動負債	239,545,090
		固定負債	605,205,704
		負債合計	844,750,794
固定資産	873,030,445	【資本の部】	
有形固定資産	729,848,912	株主資本	667,939,829
無形固定資産	2,708,000	資本金	10,000,000
その他資産	140,473,533	利益剰余金	657,939,829
繰り延べ資産		純資産合計	667,939,829
資産合計	1,512,690,623	負債・純資産合計	1,512,690,623

損益計算書

自 令和4年6月1日 至 令和5年5月31日

科目	金額
【経常損益の部】	
営業利益	138,980,309
営業外利益	3,517,633
営業外費用	9,193,348
経常利益	133,304,594
【特別損益の部】	
特別利益	4,316,637
特別損失	0
税引前当期純利益	137,621,231
法人税その他の税の額	38,016,340
当期純利益	99,604,891

株主資本等変動計画書

自 令和4年6月1日 至 令和5年5月31日

	資本金	利益剰余金	株主資本
前期末残高	10,000,000	558,334,938	568,334,938
当期変動額合計		99,604,891	99,604,891
当期末残高	10,000,000	657,939,829	667,939,829

株式会社まごころ清掃社

## 注記表

この計算書類は、「中小企業の会計に会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法：時価のないもの 移動平均法による原価法

たな卸資産の評価基準及び評価方法：最終仕入れ原価法による原価法

固定資産の原価償却の方法

(1)有形固定資産 定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっております。

並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

なお、耐用年数及び残存価格については、法人税法の規定によっております。

(2)無形固定資産:定額法

引当金の計上基準

貸倒引当金債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率に計上するほか個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

収益及び費用の計上基準

収益は実現主義、費用は発生主義により認識しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。

株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行株式の数 200株

一株当たりの情報に関する注記

一株当たりの純資産額 : 3,339,699円 15銭

一株当たりの当期純利益金額 : 498,024円 46銭